

[巻頭言]

センター長就任のごあいさつ

平成 20 年 4 月 1 日から、サイバーサイエンスセンター長に就任いたしました。着任からすでに 8 ヶ月余をすぎましたが、改めてセンターの運営方針について述べさせていただきます、ご挨拶と代えさせていただきます。



サイバーサイエンスセンターは、全国共同利用施設として高性能計算やネットワークなど先端学術情報基盤の整備・運用と、これら先端学術情報基盤を活用した新しい科学(サイバーサイエンス)の創造に関する教育・研究を推進することを目的として、前身である情報シナジーセンターの発展的改組を行い、平成 20 年 4 月から活動を開始しております。

本センターは、3 つの重要なミッション、1)全国共同利用としての先端的大規模科学計算環境の提供、2)学内情報基盤整備の推進、3)先端学術情報技術に関する実践的教育・研究の推進、を持っております。全国共同利用の要であるスーパーコンピュータセンターとしては、全国の利用者の皆様から高く評価されているベクトル並列型スーパーコンピュータのさらなる強化と、利用者・センターの教職員・ベンダー技術者が一体となって取り組む高速化支援体制の充実をはかり、併せて、2010 年から活動を開始する次世代スーパーコンピュータセンターと有機的連携体制を構築し、研究の初期段階の萌芽的研究に対する大量の小規模計算からペタスケールの超大規模計算に至るまでスムーズな利用が可能となる高性能計算基盤の整備に努めて参ります。全国共同利用を支える先端学術ネットワーク基盤整備に関しては、国立情報学研究所や他大学基盤センター連携し SINET の安定運用に取り組むとともに、TOPIC に特徴づけられる地域ネットワークコミュニティとの連携をさらに強化し、我が国の学術ネットワーク基盤の安定運用、発展に貢献していきたく思います。学内情報化推進に関しては、情報シナジー機構の中核的部局として安全・安心なユビキタスキャンパスネットワークの整備・研究開発に取り組んで参ります。教育・研究に関しては、情報科学研究科と医工学研究科の協力講座として、当該分野で活躍できる人材育成に取り組んで参ります。

学術情報基盤である高性能計算技術やネットワーク・認証技術は、先端科学研究ばかりでなく、事務機能や教育を支える重要な役割を担っております。サイバーサイエンスセンターは常に我が国をリードする優れたサービス機能を提供できるよう全力で取り組んで参りますので、今後とも皆様の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

サイバーサイエンスセンター
センター長 小林広明